平成２９年度事業報告

～基本理念～

みんなの力で人にやさしい地域づくり

◆新地域支援事業への取り組み　　　　　　（Ｐ１９）

行政から協議体の運営と生活支援コーディネーター業務を昨年から引き続き受託した事業です。２９年度は第１層協議体６４人のメンバーが、関心のあるテーマ４つに分かれ、「どのような地域をめざし」「どのような支援の仕組みをつくり」「自分たちには何ができるのか」について６回の協議を重ね、テーマ別にまとめたものを報告会で町へ提案することができました。今後、町の地域ケア会議で更に協議がすすめられ、本町での地域包括ケアシステムの一助に役立てられます。

また、次年度に向け３地区の協力を得て、モデル的に地域座談会を開催し地域の生活者の困りごとやニーズ把握を行いました。座談会の中では、行政サービス頼みだけでなく、住民で解決できそうな事を中心に意見を出し合う形ですすめました。

　次年度は、２９年度のモデル座談会を参考に、地域座談会を全行政区へ依頼し、第１層協議体のメンバーにも協力・参加してもらい、より細かな地域ニーズや地域ならではの様々な資源の把握をし「住み慣れた地域で安心して暮らすための支え合い、助け合い活動」への理解と関心が広がるよう働きかけていきます。

◆第４次新宮町地域福祉活動計画の策定　　（Ｐ２６）

　第４次新宮町地域福祉活動計画の策定に向け、２９年度は地域福祉計画と一体的に策定した第３次新宮町地域福祉活動計画の進捗状況の確認と事業評価を「推進委員会」にて実施しました。委員会では「地域包括ケアシステム構築」に於いて、地域での福祉活動が今後の地域づくりにおいてベースになることを踏まえ、第３次地域福祉活動計画の順調な推進と、第４次に向けた見直しの必要性についての意見が出されました。

　次期計画の策定は、町との協働で地域福祉計画と一体的に策定するようにしておりましたが、町では３０年度１年で策定されるため、町と協議の上、次年度は住民へのアンケート調査等は協働で実施しながら、本会では地域福祉計画策定後、地域福祉計画の基本理念、基本目標を共有し、さらに推進委員会での評価を参考にしながら「地域共生社会の実現」のための地域福祉活動計画を策定していきます。

重点事業

事業報告

　新宮町社会福祉協議会は、第３次地域福祉活動計画において掲げた「みんなの力で人にやさしい地域づくり」を理念のもと、４つの目標に沿った活動を展開しました。

**基本目標１　人がつながる地域づくり**

１　ボランティアなどの育成と活動の促進

（１）ボランティア活動に興味を持って参加しよう

①ボランティア情報の提供と派遣

　◇ボランティアガイドブックの作成と配布…１８０部

配布先…社会福祉センター、ボランティアセンター

　　　　新宮町役場、シーオーレ新宮、講座受講生

◇ボランティア依頼者と活動者のコーディネート

　　活動依頼（個人、地域、施設、団体等）１７５件

　　活動者数（個人、特技、団体等）　　　１７８人

◇ボランティア保険の加入手続き

　九州北部大雨災害があり災害ボランティアの加入件数が増加しています。

　活動保険加入　１４４人　（内災害ボランティア　１０９人）

②ボランティアセンターや地域でのボランティア講座の開催や支援

　【ボランティアセンター主催】

◇おすそわけ楽習会　参加者１５人（延べ４０人）

コミュニケーション麻雀を受講後、地域のサロンや福祉センター来館者へのレクリエー

ションボランティアとして活躍しています。

◇地域で活かそうスキルアップ講座

　パステルアートとマジックの講座を開催予定でしたが、参加申込者が少なかったため実施できませんでした。

　　今後は、社会教育課の生涯学習やおもてなし協会との連携を図り、生涯学習から地域貢献へつながるような工夫を図っていきます。

（２）ボランティア活動を広め応援しよう

①ボランティアセンターの活用

　２９年度の指定管理終了に伴い、３０年度より町の直営となり建物の名称が変わることから混乱を避けるため、ボランティアセンターの代表番号を社会福祉協議会へ統一し、周知を図りました。また、ボランティアセンター運営委員会も２９年度で役割を終えました。

　ボランティアセンターの名称はなくなりますが、本会事業として継続して今後もボランティア推進に努めていきます。

◇ボランティアセンター運営委員

|  |  |
| --- | --- |
| 開催日 | 協議内容 |
| ６月２６日 | ２８年度事業報告・２９年度事業計画 |
| １１月１０日 | ２９年度事業経過報告・３０年度事業計画（案） |

◇ボランティアセンター施設利用状況

延べ利用回数：１，１３０回

延べ利用人数：１１,７５２人

会 館 日 数 ：２９４日

②ボランティア団体への支援と連携

団体や個人登録者が安心して活動できるよう、活動費の助成や情報提供などの活動支援を行いました。

◇ボランティアセンターNewSの発行　４回

◇ボランティア登録８団体１６０人・個人登録者９９人　　（☆印　新規登録団体）

|  |  |
| --- | --- |
| ボランティア名称 | 主な活動 |
| あやとりの会（手話の会） | 手話の通訳活動・奉仕活動。聴覚障がいに関する啓発活動 |
| Shingu子育てNAVI | 子育てに役立つ情報収集と情報誌の作成・発信 |
| バルーンアート | 地域サロン、施設、福祉センターでのバルーンアート活動 |
| 布おもちゃ　つむＧu | 手作りの布の絵本などの製作 |
| 傾聴ボランティアそら | 地域サロン、施設、福祉センターでの傾聴活動。傾聴カフェ |
| 新宮外あそびの会 | 子ども達の外遊びを支援する活動 |
| 新宮町食生活改善推進会 | ひとり暮らし高齢者食事会（ひまわり会）、親子料理教室、男性料理教室等開催 |
| ☆rainbow　house | 子育ての講座やイベントを開催 |
| 個人ボランティア | 技術や特技を活かした活動（点字本の作成・移送サービス運転・剪定・外出支援・ 手品・小修理など） |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 実　施　日 | 内　　容 | 参　加　者 |
| 　５月１７日 | ボランティア団体情報交換会・自己紹介、団体活動紹介・新宮町ボランティアセンター運営委員選出 | 各団体代表者 |
| １１月　９日 | ボランティア団体情報交換会・自己紹介、活動状況の報告・ボランティア一斉交流会について | 各団体代表者 |
| 　２月１８日 | きずなフェスティバルへの参加 | ボランティア団体、個人ボランティア、ボランティアセンター運営委員 |
| 　３月　２日 | ボランティア一斉交流会・グループごとにフリートーク・懇親会 | ボランティア団体、個人ボランティア、特技ボランティア、社協理事、ボランティアセンター運営委員 |

◇ボランティア主催の福祉事業への支援と連携

　　・傾聴カフェ　　延べ　回数１２回　参加者　６６７人

　　・外あそび　　　延べ　回数　８回　参加者　２２５人

２　地域交流の推進

（１）交流・ふれあいの場をつくろう

①地域サロン事業への支援（ふれあいいきいきサロン・子育てサロン）

今年度、中央駅前区に隔月でふれあいいきいきサロンが立ち上がりました。

しかし、三代区は開催場所だったカラオケボックスの閉店により現在休止状態となっているため、再開に向け支援をしていきます。地域サロンへの活動支援は、助成金の他、レクリエーション道具の貸し出しや情報提供、開催地区同士の情報交換会を行いました。

|  |  |
| --- | --- |
| サロン名（行政区） | 開催日時 |
| 元気サロン（的野区） | 第１、４木曜日　10:00～14:00 |
| サロン花立花（花立花区） | 第３火曜日　10:00～12:30 |
| 地域サロン（ファーネスト新宮区） | 第３土曜日　10:00～12:00 |
| 上府いきいきサロン（上府区） | 第3火曜日　10:00～12:00 |
| シニアの会（中央駅前区） | 隔月開催 |
| サロン緑ヶ浜（緑ヶ浜区） | 第３木曜日　 9:30～11:30 |
| ピチピチサロン（夜臼１区） | 第４金曜日 　9:30～11:30 |
| にこにこサロン（夜臼２区） | 第３土曜日　10:00～12:00 |
| サロンふじ（夜臼３区） | 第３日曜日　10:00～12:00 |
| ふれ愛サロン（下府1区） | 第２水曜日　 9:30～11:30 |
| いきいきサロン（下府2区） | 第３金曜日　13:00～15:00 |
| ふれあいサロン（湊坂区） | 第１土曜日　12:00～15:00　　　　　 |
| わいわいサロン、あったか井戸端会議（桜山手区） | 第１火曜日　10:00～12:00第２火曜日　13:30～15:30　　　 |
| 癒しの空間（パークシティ区） | 第２日曜日　14:00～16:00 |
| さわやかサロン（新宮区） | 第３土曜日　10:00～12:00 |
| ふれあいの会（湊区） | 第２土曜日　13:30～15:00 |
| 相島サロン（相島区） | 毎週木・金曜日10:00～12:00 |

◇ふれあいいきいきサロン（高齢者）１７地区

◇レクリエーション用具の貸出

　　介護予防ＤＶＤ　１０回　　スカットボール　１４回　　輪投げ　８回

　ダーツ　９回　　紅白大玉　３回　　お手玉　１回

　コミュニケーション麻雀　４回

◇地域サロン情報交換会　　３月１２日（月）

◇子育てサロン（子育て中の親子）　７地区

|  |  |
| --- | --- |
| 子育てサロン実施区（名称） | 開催日時 |
| 花立花区（花立花育児サロンママ友） | 毎週水曜日　11:00～17:00 |
| 上府区（上府子育てサロン） | 第２火曜日　10:00～12:00　　　　 |
| 中央駅前区（おともだち広場） | 第３・４月曜日　10:00～12:00　 |
| 緑ヶ浜区（緑ヶ浜子育てサロン） | 第２・４火曜日　10:00～12:00 |
| 夜臼１区（夜臼１子育てサロン） | 第２・４木曜日　10:00～12:00 |
| 桜山手区（桜山手子育てサロン） | 第４土曜日　14:00～16:00　　　　　　　　　　　　 |
| 杜の宮区（杜の宮子育てサロン） | 毎週火曜日　10:30～12:00 |

②子育て支援センターと子育てサロンとの連携

　◇スタッフやサポーターの派遣

　　要望のあるサロンへの派遣だけでなく今まで一度も派遣依頼をしたことのないサロン

にも積極的に赴き、親子遊びの実施や子育てに関する情報提供を行いました。

また、サロンで用意するのが難しい手形足型のインクや衣装などを貸し出しました。

　　・延べスタッフ派遣回数　１５回

　　・延べオモチャ等貸出回数　９回

　　・子育てサロン情報交換会　１０月２０日（金）、３月１２日（月）

３　福祉意識の向上

（１）みんなで福祉の意識を高めよう

①地域福祉をすすめる福祉学習推進事業

◇ふれあいフェスタ（ふくしまつり）

４月から参加団体を募り、５月に実行委員会を立上げ実施しています。年々家族連れが目立ち来場者が増加しています。会場の広さにも限界があるため検討が必要です。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 実　施　日 | 内　容 | 来場者 |
| ９月１０日 | ボランティア団体・福祉団体・福祉施設等２９団体が参画。さまざまな福祉体験ができ、福祉を身近に感じることのできるイベント | 約１０３５人 |

②さまざまな媒体を活用した情報の発信（広報誌などの発行）

◇広報誌「ふくしだより」の発行（年４回）町広報誌アクティブ新宮の活用

◇ホームページの活用

　毎月の行事だけではなく、義援金やボランティアのお知らせ、雨天でのイベント中止時

など緊急的なことにも活用。

（２）福祉学習（教育）を推進しよう

①児童・生徒への福祉学習（教育）の推進

　子どもの頃からの福祉意識の向上を図るため、今年度は新設校の新宮北小学校を含めた町内小・中・高等学校９校（小学校５校、中学校２校、高等学校１校、特別支援学校１校）を社会福祉協力校に指定、情報交換会を開催し学校と連携しながら福祉学習の推進を図っています。

◇社会福祉協力校情報交換会

社会福祉協力校の主な事業…特別支援学校との交流、幼稚園・保育園児との交流、敬老招待給食、赤い羽根共同募金活動等

|  |  |
| --- | --- |
| 実施日 | 内　容 |
| 　７月　３日 | ・各学校の平成２９年度の取り組みについて・社会福祉協議会から情報提供・助成金の交付 |
| 　３月２３日 | ・平成２９年度の進捗状況と評価について・平成２９年度事業報告及び３０年度指定事業の実施について |

②ふくし体験学習の推進

ゲストティーチャーの協力のもと、福祉を体験的に学べる学習を推進しました。児童数の増加に伴い体験学習のプログラム内容を学校、ゲストティーチャーと共に検討し体験プログラムの見直しを図りました。

３月には、ゲストティーチャー情報交換会を行い、それぞれの活動について情報共有し次年度に向け協議しました。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 実　施　日 | 学校名（学年） | 内　　容 |
| 6/20,23,27,28,29,30 | 新宮小学校（３年生）児童数　１８９人 | バリアフリー施設見学・新宮町を知る車イス体験、障がい者施設見学 |
| 10/11,1811/2 | 新宮小学校（４年生）児童数　１８８人 | 点字、手話、ｱｲﾏｽｸ、ｼﾆｱ体験視覚障がい者の話、地域サロン交流 |
| 10/19 | 新宮小学校（１年生）児童数　２０１人 | 昔あそび体験 |
| 9/5,6,13,2210/4 | 新宮東小学校（４年生）児童数　１２９人 | バリアフリー施設見学・新宮町を知る車イス、ｱｲﾏｽｸ、点字、手話、ｼﾆｱ体験車イス利用者の話、地域サロン交流視覚障がい者の話、高齢者施設見学 |
| 11/22 | 新宮東小学校（１年生）児童数　１５２人 | 昔あそび体験 |
| 11/22,2912/6 | 立花小学校（４年生）児童数　１５人 | バリアフリー施設見学・新宮町を知る車イス、ｱｲﾏｽｸ、点字、手話体験 |
| 6/6,7,13,21,287/610/17,18,19,20 | 新宮北小学校（３年生）児童数　１５０人 | バリアフリー施設見学・新宮町を知る車イス、ｱｲﾏｽｸ、点字、手話体験障がい者施設見学・職場体験 |
| 10/6 | 新宮北小学校（１年生）児童数　１８６人 | 昔あそび体験 |
| 8/30 | 新宮中学校生徒数　６０人 | 外あそび学習、幼児食学習 |
| 11/27 | 福岡特別支援学校（５・６年生）児童数　１０人 | 昔あそび体験 |
| 12/5 | 福岡特別支援学校（１・２年生）児童数　４人 | 昔あそび体験 |

ゲストティーチャー：手話の会、点字ボランティアともしび、外あそびの会、老人クラブ、個人ボランティア、聴覚障がい者、下肢障がい者、視覚障がい者

新宮偕同園、福岡コロニー、行政区福祉会

**基本目標２　安心して暮らせる地域づくり**

１　地域ぐるみの安全対策

（１）地域の見守りネットワークの仕組みをつくろう

①見守りネットワークの充実と支えあう体制づくり

民生委員・児童委員と連携し、地域の見守り対象者宅への見守り訪問活動を行いました。

見守り訪問活動の情報については、訪問記録票を活用し、福祉委員、民生委員・児童委員、

福祉会長（区長）の３者で情報共有しています。

毎月の訪問記録は本会にも提出いただき、報告内容で心配なケースは福祉委員へ連絡し

必要に応じて地域包括支援センターへつなぎ支援しています。

◇福祉委員の見守り訪問活動

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 延べ訪問回数 | 延べ見守り対象世帯数 | 延べ見守り対象者数 |
| ４，７４５回 | ３，６８１世帯 | ４，０２９人 |

②小地域活動者研修会

福祉委員交代年度のため、地域活動の基本を押さえることを中心とした内容で研修会を実

施しています。本会の福祉サービスについては、地域サロン開催時などに出向きPRし、住民への周知に努めています。

|  |  |
| --- | --- |
| 実　施　日 | 内　　容 |
| 　４月１０日 | 福祉委員研修会　就任式・委嘱状の交付・小地域活動と福祉委員の活動 |
| ７月２４日 | 民生委員・児童委員、福祉委員合同研修会・新宮町の小地域福祉活動について・地域からの取組発表　（夜臼４区、桜山手区）・情報交換 |
| ８月２１日 | 福祉委員研修会・社会福祉協議会が行う福祉サービス・事業・情報交換 |
| １１月２８日 | 福祉委員視察研修会・認知症疑似体験（クローバープラザ） |
| 　１月２９日 | 民生委員・児童委員、福祉委員合同研修会・災害時に地域に求められる役割（新宮町地域協働課）・情報交換 |
| ３月　７日 | 福祉委員研修会・相手に寄り添う傾聴（合同会社アウエフキャリア　代表　田島聡子氏） |

（２）災害に強い地域をつくろう

①見守りネットワークの充実と支えあう体制づくり（重複）

②粕屋地区社会福祉協議会と連携した災害時の体制づくり

　粕屋地区社協連絡協議会と一般社団法人福岡青年会議所との災害時相互協力協定締結

③九州北部豪雨災害被災地社協への支援

　７月５日からの大雨災害に伴う福岡県内の被災地社協で立ち上げられた災害ボランティ

アセンターへ職員を派遣しています。

　◇東峰村災害ボランティアセンター及び朝倉市災害ボランティアセンター

７月１５日～９月末　　　延べ派遣日数２８日間　　　延べ派遣人数１５人

（３）防犯及び交通安全対策を推進しよう

①見守りネットワークの充実と支えあう体制づくり（重複）

２　協働によるまちづくり

（１）みんなで協働を推進しよう

①行政区福祉会への活動支援

◇行政区福祉会への情報提供や活動費の支援

|  |  |
| --- | --- |
| 実施日 | 内　　容 |
| 　５月３０日 | 福祉会長(区長)への社会福祉協議会事業説明会・２９年度福祉会助成金交付手続き |
| ７月１９日 | 福祉会長(区長)と社協役員との福祉懇談会・福祉会の活動状況や課題等を各福祉会長より報告、情報交換 |

②地域担当による小地域福祉活動への支援

各行政区に地域包括支援センター職員と訪問し、福祉会長（区長）、民生委員・児童委

員、福祉委員等福祉会役員と地域福祉活動について情報交換・意見交換を行いました。

　訪問では、主に本会は地域福祉活動全般に対しての情報提供、地域包括支援センター

は心配な人の情報収集や助言を行いました。全行政区終了後は報告書を作成し、関係者へお返ししています。

全２４行政区中２３行政区に実施。※よつば区は新行政区のため未実施。

|  |  |
| --- | --- |
| 行　政　区 | 日　　時 |
| 的野 | ７月１１日（火）１３：００～ |
| 立花口 | ７月２４日（月）２０：００～ |
| 花立花 | ９月２６日（火）１９：００～ |
| 原上 | ８月１６日（水）１９：００～ |
| ファーネスト新宮 | ７月２２日（土）１８：００～ |
| 三代 | ９月　１日（金）１６：００～ |
| 上府 | ６月２３日（金）１９：００～ |
| 中央駅前 | １０月１５日（日）１９：００～ |
| 中央駅西 | ８月２８日（月）２０：００～ |
| 緑ケ浜 | ７月　９日（日）１６：００～ |
| 夜臼１ | ６月２３日（金）１３：００～ |
| 夜臼２ | ８月１９日（土）１２：００～ |
| 夜臼３ | ８月２０日（日）１０：００～  |
| 夜臼４ | ８月　８日（火）１４：００～ |
| 下府１ | ９月　７日（木）１９：００～ |
| 下府２ | ９月１５日（金）１０：００～  |
| 桜山手 | ８月２４日（木）１０:００～ |
| 湊坂 | １２月１５日（金）１１：１５～ |
| ﾊﾟｰｸｼﾃｨ | １０月１５日（日）１０：００～ |
| 杜の宮 | １１月２８日（火）１７：００～ |
| 新宮 | ９月１５日（金）１４：００～ |
| 湊 | ９月１３日（水）１９：００～ |
| 相島 | ７月　８日（土）　９：４０～ |

◇新地域支援事業に伴う第２層協議体の設置（モデル事業）

　地域への負担を考え、第２層協議体を設置するのではなく、まずは課題抽出・地域特性

の把握等を目的とした地域座談会を開催。今年度はモデルとして３行政区で実施しました。

　　花立花区　　平成３０年２月１０日（土）１０：００～　参加者１７名

夜臼２区　　平成３０年２月１０日（土）１５：３０～　参加者９名

桜山手区　　平成３０年２月２０日（火）１４：００～　参加者８名

③社会福祉法人（福祉施設）、福祉団体、企業やＮＰＯとの連携

　◇新宮町社会福祉法人連絡会の立ち上げ、地域の公益的な活動の実施

　町内に福祉施設がある社会福祉法人で連絡会を立ち上げ、子どもの生きる力を応援するた

めの取り組みについて学習・協議を進め、地域と協働で子どもの調理体験や、地域の多世代

間交流を促進する事業を実施することができました。

事業を推進するため、県社協のモデル指定を２年間受けることができたので、助成金を活

用し連絡会を中心に企業や地域の様々な団体等と連携した社会貢献活動に取り組みを広げていきます。

|  |  |
| --- | --- |
| 実施日 | 内　　容 |
| ４月２６日 | 社会福祉法人連絡会立ち上げ　　８法人　１１事業所（福岡コロニー、新宮偕同園、ムネしんぐう、立花園、暁華保育園、新宮あおぞら保育園、上府あおぞら保育園、新宮つぼみ保育園、新宮杜の宮コスモス保育園、新宮下府コスモス保育園、新宮町社会福祉協議会） |
| ７月２７日 | 学習会　社会福祉法人の地域における公益的な取り組みについて　　　　新宮町の子どもの現状講　師　特別養護老人ホーム安雲拓心苑　井上浩明氏　　　　上毛町社会福祉協議会　中村　麻衣氏　　　　子育て支援課長　大原　稲子氏 |
| ９月２１日 | ２９年度事業計画の内容について子どもが来やすい居場所づくりについて |
| １２月２６日 | 子どもが来やすい居場所づくりについて　実行委員会立ち上げ企業の社会貢献活動の情報収集について |
| ２月２４日 | 子どもが来やすい居場所「しんぐうわくわくキッチン」実施場　所：下府２区公民館参加者：子ども２８人、高齢者３０人、地域関係者１９人 |
| ３月２６日 | ３０年度事業計画について |

④民生委員・児童委員との連携

　共に地域福祉を推進する団体として連携を持つため合同研修会を企画・実施しました。

　今年度は、関心が高い「子どもの貧困」「災害時に地域に求められる役割」について研修を行うと共に、グループワークを通じて課題・意識を共有し連携を深めました。

３　健康づくり・生きがいづくり・就労支援の推進

（１）健康づくりを推進しよう

①地域サロン事業への支援（ふれあいいきいきサロン・子育てサロン）（重複）

（２）生きがいづくりを支援しよう

①ボランティアセンターや地域でのボランティア講座の開催や支援（重複）

②シルバー人材センターとの連携

　高齢者の就労支援として清掃業務と土日の福祉センター窓口業務を委託

（３）就労支援を推進しよう

①障がいのある人の雇用の推進

　・社会福祉センター売店業務、事務補助等の業務を福岡コロニーへ委託

②生活困窮者、相談窓口の広報や紹介（生活困窮者自立支援事業）

　・くらしの困りごと相談室（県事業）との連携

　　緊急小口資金貸付け相談者への対応を連携して行いました。

**基本目標３　適切な福祉サービスが利用できる地域づくり**

１　福祉サービスに関する事業の推進

（１）必要な福祉サービスを提供しよう

①移送サービス

車イス利用者の社会参加の支援として、リフトカーの貸し出しや運転ボランティアによる移送サービスを実施。

・利用状況　登録者　８人（運転ボランティア１０人）

・申請件数：１４０件　・実施件数：１１２件（不可１０件、キャンセル１８件）

・実施内容：医療機関への通院、買い物等の社会参加

②車イスの貸し出し

　延べ１７台

③手話通訳派遣事業（町受託）

行政と手話の会と連携し、手話通訳が必要な聴覚障がい者と手話通訳者のコーディネートを行いました。

・利用者数　　７人

　・派遣回数　９６回

・奉仕員　　　５人

④訪問介護事業（介護保険制度）

　登録ヘルパー１０人で対応しています。利用者の６割弱が総合事業の対象者です。

緩和の利用者にはサポーターが居ないため、ヘルパーが活動しており、訪問介護事業収入の減の要因となっています。

◇訪問介護

生活支援、身体介護、ともに減少しています。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 実利用者数 | 生活 | 身体 | 活動合計 |
| ４月 | １７ | １２０.０ | ５３.０ | １７３.０ |
| ５月 | １３ | １０４．０ | ４４.５ | １４８.５ |
| ６月 | １４ | ８９.５ | ２５.０ | １１４.５ |
| ７月 | １６ | １０４.０ | ３８.０ | １４２.０ |
| ８月 | １５ | １０５.５ | ３５.０ | １４０.５ |
| ９月 | １５ | １１１.５ | ４１.０ | １５２.５ |
| 10月 | １３ | ６４.０ | ２１.０ | ８５.０ |
| 11月 | １２ | ８５.５ | ２５.０ | １１０.５ |
| 12月 | １２ | ６６.０ | １７.０ | ８３.０ |
| 1月 | １０ | ６２.0 | ９.５ | ７１.５ |
| 2月 | １３ | ７８.５ | １６.０ | ９４.５ |
| 3月 | １６ | ７１.５ | １７.５ | ８９.０ |

（単位／人）　（単位／時間）

◇介護予防訪問介護

利用者は月により変動があります。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 要支援１ | 要支援２ | 実利用者数 | 活動合計 |
| ４月 | １４ | ７ | ２１ | ９８.５ |
| ５月 | １５ | ８ | ２３ | １１９.０ |
| ６月 | １３ | ８ | ２１ | １２４.５ |
| ７月 | １２ | ８ | ２０ | １２２.０ |
| ８月 | １０ | １０ | ２０ | １１９.０ |
| ９月 | ７ | １１ | １８ | １１０.５ |
| 10月 | ８ | １１ | １９ | １４４.５ |
| 11月 | １２ | １１ | ２３ | １４４.５ |
| 12月 | １５ | １１ | １６ | １５７.０ |
| 1月 | １４ | １２ | ２６ | １５２.０ |
| 2月 | １４ | １２ | ２６ | １５１.０ |
| 3月 | １５ | １１ | ２６ | １５０.５ |

（単位／人）　　　　　　　　　　　　　　　（単位／時間）

⑤居宅介護事業（障害者総合支援法）

９月の更新で利用がなくなりました。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 実利用者数 | 生活 | 身体 | 活動合計 |
| ４月 | １ | ３.５ | ０ | ３.５ |
| ５月 | １ | ３.０ | ０ | ３.０ |
| ６月 | １ | ３.０ | ０ | ３.０ |
| ７月 | １ | ３.０ | ０ | ３.０ |
| ８月 | １ | １.０ | ０ | １.０ |
| ９月 | ０ | ０ | ０ | ０ |

（単位／人）　（単位／時間）

⑥ホームヘルプサービス事業（町受託）

　今年度は活動がありませんでした。

⑦ひとり親家庭等日常生活支援事業（町受託）

　５月から７月まで利用がありました。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 実利用者数 | 活動合計 |
| ５月 | １ | ３.０ |
| ６月 | １ | ５.０ |
| ７月 | １ | ４.０ |

（単位／人）　　　　　　（単位／時間）

⑧あんしん生活支援事業

月平均利用者数は１９件です。件数はほぼ横ばいですが、利益は減っています。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 実利用者数 | 生活 | 身体 | 活動合計 |
| ４月 | １８ | ５３.５ | ２０.５ | ７４.０ |
| ５月 | １９ | ５６.５ | １８.０ | ７４.５ |
| ６月 | １９ | ７１.５ | １５.５ | ８７.０ |
| ７月 | ２２ | ７５.０ | １４.０ | ８９.０ |
| ８月 | ２２ | ７４.５ | １３.５ | ８８.０ |
| ９月 | ２０ | ６４.５ | ４.５ | ６９.０ |
| 10月 | １７ | ８１.５ | １.０ | ８２.５ |
| 11月 | ２１ | ７３.５ | １.０ | ７４.５ |
| 12月 | １８ | ６５.０ | ５.０ | ７０.０ |
| 1月 | １８ | ６０.０ | ０ | ６０.０ |
| 2月 | １９ | ５３.５ | ０ | ５３.５ |
| 3月 | １６ | ５９.５ | ０ | ５９.５ |

　　　　　　　（単位／人）　（単位／時間）

⑨地域生活支援事業（町受託）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 実利用者数 | 活動合計 |
| ４月 | １ | １１．０ |
| ５月 | ２ | １４.０ |
| ６月 | ２ | １４.０ |
| ７月 | ２ | １３.５ |
| ８月 | ２ | ８.５ |
| ９月 | ３ | ７.０ |
| 10月 | ３ | １１.０ |
| 11月 | ３ | １３.０ |
| 12月 | ３ | １３.０ |
| 1月 | ３ | １４.０ |
| 2月 | ３ | １７.０ |
| 3月 | ３ | １７.０ |

　　　　　　　　　　　　　　（単位／人）　　　　　　（単位／時間）

⑩生活福祉資金貸付事業（県事業・町事業）

◇生活困窮者への食糧等一時貸付

生活困窮者対策の一つとして、貸付けにより一時的に緊急対応しています。

貸付を行った件数以外に、負債等を理由に貸付につながらない相談が１９件あります。生活保護受給中でも生活費が不足し制度内では解決できずに相談に至るケースが見られ、生活保護ケースワーカーへの相談を図り対応しています。

また精神的に不安定な方の相談も多く、生活資金の判断能力が不十分であるものの、お金の優先順位を説明したり、金銭管理のサービスを説明しても改善されず、くらしの相談窓口や弁護士への相談もすすめています。

◇新宮町生活福祉資金　　　　　一時貸付資金　１１件　７９，０００円

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 日付 | 金額 | 世帯携帯 | 理由 |
| 7月21日 | 10,000円 | 母子（生活保護） | お金を落とし、家賃や生活費がない。生活保護支給日までお金がない。 |
| 9月19日 | 5,000円 | 夫婦（生活保護） | 生活費が不足。水道、電気も止められており生活保護支給日までお金がない。 |
| 10月11日 | 30,000円 | 親子 | 母、子ども3人は障がいがある。父の初任給までのつなぎ資金。県に緊急小口資金10万円も同時申請。 |
| 10月16日 | 5,000円 | 単身（生活保護） | 電気代、ガス代滞納金の支払いで生活困窮。 |
| 10月30日 | 3,000円 | 単身（生活保護） | 組費支払いや米を購入したことにより、食費が不足したため。 |
| 11月9日 | 5,000円 | 夫婦（生活保護） | 友人への返済で生活困窮。 |
| 11月15日 | 3,000円 | 夫婦（生活保護） | 夫の入院準備と灯油代等、妻の浪費による生活困窮。 |
| 12月19日 | 1,000円 | 夫婦（生活保護） | 12月に障害者年金が入っていないことを年金事務所に確かめに行くためのガソリン代。 |
| 12月22日 | 4,000円 | 夫婦（生活保護） | 手続き不足による年金支給が遅れたことが原因で12月にあてにしていたお金がなかったため。 |
| 1月23日 | 5,000円 | 単身（生活保護） | 愛犬の火葬代で今月の電気代が支払えず、電気が止められる。食費もないため。 |
| 2月27日 | 8,000円 | 母子（生活保護） | 電気代滞納のため生活困窮。 |

◇新宮町生活福祉資金貸付金償還滞納状況。

　　・生活資金　３件　　就学支度資金　４件　福祉資金　１件

　　※４件の滞納案件（生活資金）について、借受人が行方不明等で償還が見込めない案件を不能欠損処理しました。

◇福岡県生活福祉資金

・福祉資金　　　　１件　　　　　５３，０００円

・緊急小口資金　　５件　　　　４６０，０００円

・教育支援資金　　７件　　８，７３１，０００円

⑪会食型食事サービス（ひまわり会）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 　実　施　日 | 内　容 | 参加者 |
| 　６月２２日 | 新宮町食改善推進委員会による手作りの食事（ちらし寿司、お吸い物、デザート）提供。ボランティアによるどじょうすくいやフラダンス、笑いヨガを実施。 | ３３人 |
| １１月３０日 | 新宮町食改善推進委員会による手作りの食事（梅飯、さつま汁、デザート）提供。杜の宮コスモス保育園児との交流。バルーンアートボランティアによる風船のプレゼント。 | ３０人 |

⑫日常生活自立支援事業

有料老人ホームからの相談、依頼が増えています。

事業内容を十分に理解されないまま、依頼されるケースがあるため周知が必要です。

今後も利用者が増えていくことが予想されるため、支援員の養成が必要です。

　・支援員数　　７人

・契約者数　　高齢者８人、知的障害者１人、精神障害者０人

・活動回数　　延べ１０４回

⑬法人後見事業 (しんぐう成年後見センターの推進)

　日常生活自立支援事業での対応が困難になった利用者２人を、継続的な支援を行うため、成年後見制度へ移行し、毎月の見守り活動と支払いを含む預貯金の管理を実施しています。

今後の活動件数の増加に対応するため、日常生活の支援とあわせて市民後見人の養成が必

要です。

・市民後見人活動数　　２人

・類型　　　　　　後見２人（高齢者）

・活動回数　　　延べ２４回

　◇市民後見人フォローアップ研修

　　市民後見人養成研修修了生だけではなく、広く住民に対して啓発することを目的に公開講座を行いました。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 実施日 | 内容 | 参加者 |
| ２月１７日 | テーマ「知っておきたい老後のお金～相続・遺言・成年後見制度～」講師　：　弁護士　弓　幸子氏 | 　１３人 |

⑭地域子育て支援拠点事業　子育て支援センター　（町受託）

◇かんがるーひろば登録者数・利用延べ人数　（※開所は週５日）

福祉センターでの「かんがるーひろば」は主に育児等について気軽に相談できる場となるよう、乳児健診等での周知を図り相談業務も充実させています。また、子育て等による相談援助の実施として心配な児童の情報を記載し、行政と情報を共有しています。

・登録者　　　　保護者　　　７５１人、子ども　　　９２７人

・延べ利用者数　保護者　６，１２９人、子ども　７，３３８人

・開所日　　　　２４０日

◇かんがるーひろば相談件数・内容

・延べ相談件数　　４６１件（平成２９年４月～平成３０年３月）

・他機関紹介件数　　２３件（平成２９年４月～平成３０年３月）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 食　事 | 幼稚園、保育園 | トイレトレーニング　 | イヤイヤ期 | 発達 | その他 | 合計 |
| 89 | 63 | 48 | 44 | 41 | 176 | 461 |

その他の相談内容…断卒乳、歯について、生活リズム、言葉の発達、母親のメンタル、病院について、子育てサロン、噛み癖、人見知り、癇癪等

◇出張ひろばの開催

　「かんがるーひろば」まで来所するのが困難な親子が気軽に足を運べるための開放型支援センターを週に１回的野区で開所しました。

　　的野区福祉会やボランティアの協力もあり地域の人との交流の場になっています。

　・延べ参加者　　保護者２８５人、子ども４０１人、ボランティア１２８人

⑮ファミリー・サポート・センター事業（町受託）

まかせて会員（援助希望者）とおねがい会員（支援希望者）の養成・登録・調整を行っています。

会員の募集は、おねがい会員登録講習については随時対応しています。まかせて会員については年度後半の１１月と２月に講習会を行い、１５人のまかせて・どっちも会員の登録がありました。また、親子で楽しめる子育てセミナーも行い、会員同士の交流や事業の周知を図りました。

◇第１回まかせて（どっちも）会員養成講座　受講時間１５時間（８人が受講、登録）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 回　数 | 日　時 | 内　　容 |
| 第1回 | 11月9日（木）10：00～12：30 | ①ファミリーサポート事業とは講師：新宮町役場　保健師　立山綾菜氏②保育の心と子どもの遊び講師：立花幼稚園　北﨑園長 |
| 第2回 | 11月14日（火）10：00～12：00 | ③子どもの発達と理解講師：福岡女学院看護大学　原崎先生 |
| 第3回 | 11月16日（木）10：00～12：00 | ④子どもの栄養と食生活講師：管理栄養士　百武先生 |
| 第4回 | 11月21日（火）10：00～12：00 | ⑤子どもの病気と事故の予防と手当講師：日本赤十字社 |
| 第5回 | 11月24日（金）10：00～12：30 | ⑥お預かり体験⑦会員登録 |

◇第２回まかせて（どっちも）会員養成講座　受講時間１５時間（７人が受講、登録）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 第1回 | 2月1日（木）10：00～12：30 | ①ファミリーサポート事業とは②保育の心と子どもの遊び |
| 第2回 | 2月8日（木）10：00～12：00 | ③子どもの栄養と食生活 |
| 第3回 | 2月13日（火）10：00～12：00 | ④子どもの病気と事故の予防と手当 |
| 第4回 | 2月16日（金）10：00～11：40 | ⑤お預かり体験 |
| 第5回 | 2月20日（火）10：00～12：30 | ⑥子どもの発達と理解⑦会員登録＊講師は第１回講座と同じ。 |

◇登録状況　（別紙資料１）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| まかせて | おねがい | 両　方 | 総数 |
| ２５人 | ２１８人 | ２０人 | ２６３人 |

◇活動状況　　２６２件（別紙資料２）

主な活動内容…保育園・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり

　　　　　　　　　　　　　　保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助

⑯福祉センターの活用（別紙資料３）

　建築経過年数もあり、今後の大型補修工事等の実施は本会では対応しかねるため、町への無償譲渡の手続きを理事会、評議員会を経て町と協議をしながらすすめました。

◇社会福祉センター修理箇所　９カ所

（修繕箇所：大広間蛍光灯ランプ取替、女子トイレ扉修理、雨漏り修繕、ボイラー室換気

扇取替、事務室空調修理、福祉センター裏口止水栓漏水修理、助成浴室換気扇交換、事

務室照明器具、事務室改修）

◇福祉バスの有効活用

　福祉バスの運転手の確保が課題でしたが、募集により新たに２人確保することができたため、次年度より福祉バスの有効活用について検討していきます。

　　・行政区福祉会　３２回

　　・福祉団体・ボランティア団体　１０回　　その他７回

⑰サービスの創出（開発）

　◇ふくおかライフレスキュー事業との連携

　　８月にふくおかライフレスキュー事業（県内の社会福祉法人が連携し地域における公益的な活動を実施）に加入し、新たに職員２人がサポーター養成研修を受講しました。

　粕屋地区サポーター連絡会にも参加しています。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 支援対象者 | 状況 | 支援内容 |
| ひとり暮らし高齢者（男性） | 生活保護受給中。病気のため、生活環境の整備が必要だが、そのための家電購入が経済的に困難。 | 粕屋地区リユース事業により、洗濯機の支給。 |
| ひとり暮らし男性 | 病気のため前職を辞め、経済的に困窮。新たに職に就くも初任給までの生活費と生活環境整備が必要。 | 粕屋地区リユース事業により、洗濯機・冷蔵庫の支給。（生活福祉資金も併せて対応。） |
| ひとり暮らし高齢者（男性） | 企業年金支給日までの生活費や光熱費、通院等に係るガソリン代が不足。 | 本人と健康福祉課社会福祉担当職員、民生委員と連携し支援を行う。本人の意向によりガソリン代のみ支給。 |

⑱生活支援介護予防サービス基盤整備事業（町受託）

第１層協議体で関心の高いテーマごとにグループワークを行い、まとめたものを報告会で住民、各関係団体、町内福祉施設、病院等招き発表しました。

◇ニックネーム決定

「しんぐるっと～支え合いのまちづくり推進会議～」

◇協議体　登録者６４人

　　第１回　平成２９年　５月１８日（木）参加者３８名

　　第２回　平成２９年　８月　１日（火）参加者３６名

　　第３回　平成２９年　９月１９日（火）参加者３０名

　　第４回　平成２９年１１月　８日（水）参加者２４名

　　第５回　平成２９年１２月１９日（火）参加者１７名

　　第６回　平成３０年　１月２３日（火）参加者２９名

　　報告会　平成３０年　３月　４日（土）参加者６１名

　　　　　テーマ①子どもの貧困・居場所づくり

　　　　　　　　②地域に住む高齢者の支援

　　　　　　　　③高齢者の居場所づくり

　　　　　　　　④地域で活動できるボランティアの育成

案内団体：社協役員、評議員、区長会、町議会、役場職員、福祉委員会、民生児童委員協議会、ボランティア団体、福祉団体、新宮おもてなし協会、商工会、公益活動団体、個人ボランティア、新宮見守りネットワーク事業者、医療施設、歯科医院、町内薬局、学校関係、町内各施設・事業所、生活支援サポーター登録者

◇新地域支援事業に伴う第２層協議体の設置（モデル事業）再掲

⑲スクールソーシャルワーカー事業（町受託）

家庭的に心配な子どもに対して支援を行うため、学校や役場からの情報により、家庭訪問や学校訪問で保護者や子どもと面談を行い、家庭状況を把握し、必要な福祉サービスにつなげています。また要保護児童対策協議会における関係機関との連携を強化し、学校等で開催される個別ケース会議に参加しています。スクールソーシャルワーカー連絡会議にも参加し糟屋郡内や他市との情報共有にも努めました。

◇活動家庭数　１７件　　　　延べ活動回数　１８３回

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 活動月 | 活動回数 | 主な内容 |
| ４月 | １０回 | 相談支援、ケース会議への参加、家庭訪問、研修会参加 |
| ５月 | ３回 | 相談支援、ケース会議への参加、家庭訪問、SSW運営協議会 |
| ６月 | ９回 | 相談支援、ケース会議への参加、家庭訪問、SSW連絡会議 |
| ７月 | １２回 | 相談支援、ケース会議への参加、研修会参加、家庭訪問、SSW連絡会議 |
| ８月 | １０回 | 相談支援、ケース会議への参加家庭訪問、SSW連絡会議 |
| ９月 | ２２回 | 相談支援、ケース会議への参加、研修会参加、家庭訪問 |
| １０月 | ３２回 | 相談支援、ケース会議への参加、SSW連絡会議 |
| １１月 | １４回 | 相談支援、ケース会議への参加、SSW連絡会議実務者会議、研修会参加、家庭訪問 |
| １２月 | ３１回 | 相談支援、ケース会議への参加、研修会参加、SSW連絡会議、家庭訪問 |
| １月 | １７回 | 相談支援、ケース会議への参加、SSW連絡会議 |
| ２月 | １４回 | 相談支援、ケース会議への参加、家庭訪問 |
| ３月 | ９回 | 相談支援、ケース会議への参加、家庭訪問 |

２　相談支援体制の充実

（１）相談支援体制を充実させよう

①暮らしの相談窓口の設置と地域との連携

　◇心配ごと相談事業（毎月第２火曜日　１０時～１５時）…１４件

◇法律相談事業（奇数月の１５日　１３時～１６時）…３０件

**基本目標４　社会福祉協議会の基盤強化**

１　社会福祉協議会の基盤強化

（１）自主財源の確保に努めよう

①会員制度への加入促進

１月～７月にかけて区長を通じ住民への加入推進を依頼し、区長・組長の協力のもと年度

前半に全行政区加入促進を推進しました。

新規加入者が少なく、高齢の会員が多いため会員数は減少傾向のため、会員制度推進委員

会を開催し、使途の明確化、会員特典や募集の方法について検討しました。

　賛助会員：　１，１１０人

　特別会員：　　　　　７人

　　合　計　　１，１１７人　　１，２１９，６００円

　（昨年度　　１，１４１人　　１，２６５，７００円）

②赤い羽根共同募金運動の促進（別紙資料４）

　平成２９年度実績　４，４２２，１２１円

　福祉センター内の全ての自販機が赤い羽根自販機になりました。

　ふれあいフェスタ時に赤い羽根募金ブースを設け啓発を行うと共に、募金活動を実施しました。新宮町社協キャラクターであるココロちゃんをプリントしたエコバックや缶バッチを募金の資材として作成しました。

　ふれあいフェスタでは、赤い羽根に関するクイズを実施し子どもを中心にＰＲすることができました。

　◇共同募金配分金受配団体

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 新宮町老人クラブ | 在宅介護者の会こぶしの会 | 新宮町身障協会 | 心身障害児者親の会 |
| すまいるしんぐう | 新宮ネットワーク | 子育てNAVI | 母子寡婦福祉会 |
| 地域福祉会 | 傾聴そら | 布おもちゃつむGU | バルーンアート |
| 社会福祉協力校 | 手話の会 |  |  |

◇九州大雨災害に対しての街頭募金を実施。合計４９９，８１１円の義援金が集まりました。

③チャリティー事業への支援

　◇第２９回福祉バザー　平成２９年１１月３日（金）　２０８，００３円

　　今年度はまつり新宮の会場ではなく、そぴあしんぐうの緑地帯で開催。

　　まつり新宮会場から少し離れたために、場所がわかりずらかったり、開催自体知らなかった等の声も聞かれ、物品を新品のみとしたことによるバザー用品の減少等課題もあったが、準備や開催時間の変更による、協力者への負担軽減等おおむね好評だった。

◇第２６回チャリティボウリング大会　　　平成３０年２月１６日（金）

実行委員会を通じて、２５０,０００円の寄付を頂きました。

（２）社会福祉協議会の組織体制を強化しよう

①理事会及び評議員会の充実

＜理事会＞

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 日　　時 | 出　席（理事／監事） | 議　案その他協議事項 |
| ５月　８日１０:００ | ９／０ | 第１０号議案　評議員選任・解任委員会委員の承認について第１１号議案　評議員候補者の承認についてその他　　　・経理規程について　　　　　  |
| ５月２９日１３:３０ | ６／２ | 第１２号議案　役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部を改正する規程の制定について第１３号議案　評議員の費用弁償に関する規程の制定について第１４号議案　平成２８年度事業報告について第１５号議案　平成２８年度一般会計資金収支決算について第１６号議案　平成２８年度共同募金会新宮町支会資金収支決算について監査報告第１７号議案　理事及び監事候補者の承認について第１８号議案　定時評議員会の開催について |
| ６月１６日１５:３０ | １０／２ | 第１９号議案　会長・副会長の選定について協議事項１）理事・監事候補者選任の選考委員会委員の会長指名　２）部会及び委員会の編成及び正副委員長の選任 |
| ７月１９日１３:１５ | ９／１ | 第２０号議案　平成２９年度一般会計資金収支第１次補正予算について第２１号議案　評議員会の開催について協議事項１）福祉バザーについてその他　　　・大雨災害義援金募集のための街頭募金について　　　　　　・ふれあいフェスタ２０１７ |
| ９月２７日１０:００ | １０／２ | 第２２号議案　平成２９年度一般会計資金収支第２次補正予算について報告　　１号　会長執行状況の報告について協議事項１）基本財産の処分についてその他　　　・平成２９年度赤い羽根共同募金について　　　　　　・第２９回福祉バザーについて・社会福祉大会について・セアカゴケグモの発生について |
| １０月２０日１０:００ | １０／２ | 第２３号議案　基本財産の処分について第２４号議案　平成２９年度一般会計資金収支第３次補正予算について第２５号議案　生活福祉資金滞納事案の不能欠損処理について第２６号議案　評議員会の開催についてその他　　　・福祉バスの運転手について　　　　　　・平成２９年度赤い羽根共同募金について |
| １月３１日１０:００ | ９／２ | 議題　　　　①平成３０年度事業概要・予算概要についてその他　　　・町民からの調停申し立てについて　　　　　　・２９年度行政区訪問のまとめ |
| ３月２２日９:５０ | １０／２ | 第　１号議案　定款の変更について第　２号議案　定款施行細則の変更について第　３号議案　経理規程の改正について第　４号議案　役員の報酬及び起用弁償に関する規程の改正について第　５号議案　臨時職員就業規程の制定について第　６号議案　事務局規程の改正について第　７号議案　就業規則の制定について第　８号議案　専決処分の承認（平成３０年専決第１号）第４次補正について第　９号議案　平成３０年度事業計画について第１０号議案　平成３０年度一般会計資金収支予算について第１１号議案　平成３０年度共同募金会新宮町支会資金収支決算について第１２号議案　評議員選任・解任委員会について第１３号議案　評議員会の開催についてその他　　　・会員制度推進委員会の報告及び承認　　　　　　・町民からの訴訟について　　　　　　・福祉バス運転手の採用について |

＜評議員会＞

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 日　　時 | 出　席（評議員／監事） | 議　案その他協議事項 |
| ６月１６日１４:００ | １３／２ | 第　４号議案　役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部を改正する規程の制定について第　５号議案　平成２８年度事業報告について第　６号議案　平成２８年度一般会計資金収支決算について監査報告第　７号議案　理事及び監事の選任について第　８号議案　理事及び監事の選任について第　９号議案　理事及び監事の選任について第１０号議案　理事及び監事の選任について第１１号議案　理事及び監事の選任について第１２号議案　理事及び監事の選任について第１３号議案　理事及び監事の選任について第１４号議案　理事及び監事の選任について第１５号議案　理事及び監事の選任について第１６号議案　理事及び監事の選任について第１７号議案　理事及び監事の選任について第１８号議案　理事及び監事の選任についてその他　　　・理事・監事候補者選任の選考委員会委員の会長指名　　　　　 |
| ８月　９日１３:３０ | １２／０ | 第１９号議案　平成２９年度一般会計資金収支第１次補正予算についてその他　　　・第２９回福祉バザーについて　　　　　 ・大雨災害義援金募集のための街頭募金について　　　　　　・ふれあいフェスタ２０１７について |
| １０月３０日１０:００ | １２／０ | 第２０号議案　平成２９年度一般会計資金収支第２次補正予算について第２１号議案　基本財産の処分について第２２号議案　平成２９年度一般会計資金収支第３次補正予算について第２３号議案　生活福祉資金滞納事案の不能欠損処理について報告　　１号　会長執行状況の報告についてその他　　　　・平成２９年度赤い羽根共同募金について |
| ３月２９日１３:３０ | １２／０ | 第　１号議案　定款の変更について第　２号議案　役員の報酬及び起用弁償に関する規程の改正について第　３号議案　専決処分の承認（平成３０年専決第１号）第４次補正について第　４号議案　平成３０年度事業計画について第　５号議案　平成３０年度一般会計資金収支予算について報告　　１号　定款施行細則の変更について報告　　 ２号　経理規程の改正について報告　　３号　臨時職員就業規程の制定について報告　　４号　事務局規程の改正について報告　　５号　就業規則の制定についてその他　　　・町民からの訴訟について　　　　　　・福祉バス運転手の採用について |

＜監査＞

|  |  |
| --- | --- |
| 実施日 | 内　容 |
| ５月１５日 | 平成２８年度決算監査 |
| １１月１３日 | 平成２９年度上半期監査 |

＜評議員選任・解任委員会＞

|  |  |
| --- | --- |
| 実施日 | 議　案 |
| ５月１５日 | 委嘱状の交付　１人（三船事務局長）第　２号議案　評議員の選任について（区長会） |

②職員の研修会及び勉強会の実施と質の向上

　◇福岡県社会福祉大会への参加

|  |  |
| --- | --- |
| 実施日 | 内　容 |
| ８月３０日 | 講義「社会福祉法人制度改革セミナー」講師　上智大学　総合人間科学部　准教授　藤井　賢一郎氏 |
| １０月２５日 | 講義「地域力を育む　一人ひとりが輝いて暮らせる地域社会を目指して」講師　NHK解説委員　後藤　千恵　氏 |

④社協キャラクターココロちゃんの活用

　ボランティアとの協働によるキャラクターグッズの作成・活用

　布おもちゃつむGuに依頼しココロちゃんグッズを作成したり、布バックを作成し本会のPRと自主財源の確保にも努めました。

⑤計画の推進・評価体制づくり

　第３次新宮町地域福祉活動計画推進委員会の設置し事業評価を実施しました。

|  |  |
| --- | --- |
| 実施日 | 内　容 |
| １０月２５日 | ◇委嘱状交付　委員…学識者、地域福祉関係者、行政、社協、ボランティア老人クラブ、身体障害者福祉協会、子育て団体◇Ｈ２９年度上半期までの進捗状況と評価について |
| ３月２３日 | ◇平成２９年度（２月末）までの進捗状況と評価について |